

---

# 石造りの街

クルクルココロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

石造りの街

### 【Nコード】

N5058V

### 【作者名】

クルクルココロ

### 【あらすじ】

石を造り続けるおじいちゃんの話。

## （前書き）

是非縦書きで読んでみてください。

あの日からというものの僕のおじいちゃんは石を造り続けている。

早朝には材料となる土を集めに裏山に出かける。この前は黄色の土を見つけたみたいで早速竈に詰め込んでいた。僕もおじいちゃんに習って一度造ってみたことがあるのだけど、それはそれはひどい出来だった。僕の造った石は地面に投げつけるととも簡単に砕けてしまった。僕は粉々になった石をちりとりで集め、裏山に捨てに行った。おじいちゃんにそうするように言われたのだ。僕の造った石は今も裏山のどこかに埋まっている。

おじいちゃんは今日も竈に火をくべている。猛獣のうなり声に似た音を立てて、竈の中にある木々は燃える。裏山から拾ってきた色とりどりの土は竈の中で高温になるとその水分を失い、一つの小さな石となる。灰色の石だ。おじいちゃんは焼き上がったのを確認するとスコップを手に取り、竈の中から石を取りだす。今日の石はいつもよりも黒い。おじいちゃんは薄黒い石を竈の隣にある石山に捨てた。そこには何百もの石が積み上げられていた。その石たちは姿形は似ているものの、それぞれ濃淡が異なる。真っ黒のものもあれば、極めて白に近いものもある。この石山は失敗作の集まりなのである。

おじいちゃんの部屋には小さな箱がある。その箱には大きな南京錠がつけられている。僕は一度その箱の中身を見せてもらったことがある。中にはこれ以上ないぐらい純粋な灰色の石があった。おじいちゃんは自分で造った石の中でも特に気に入ったものしか残しておかない。そして、おじいちゃんはある日以来、毎日石を造っている。石造り以外には何もしない。それがおじいちゃんの仕事なのだ。

僕は一度だけおじいちゃんになぜ石を造り続けるのか聞いてみたことがある。その質問に対するおじいちゃんの答えは単純明快なものであった。

「石が好きなのさ」

そう言っておじいちゃんは竈の中に竹筒で息を吹き込んだ。中の火がうなりを上げて大きくなった。

僕はおじいちゃんが嘘をついていることを知っていた。少なくとも、あの日以前のおじいちゃんは石など好きな人ではなかった。それだけは分かる。おじいちゃんは会社の社長であった。おじいちゃんが好きなものはビジネスであった。人々が何を望み、何を羨み、何を好むのか。時流の向きを絶えず確認せずにはいられない人であった。そして、おじいちゃんは少なくともその分野においては一流であった。

心筋梗塞。あの日、おじいちゃんは死の淵をさまよった。それは長い長い終わりの見えない旅であった。目を覚ましたときおじいちゃんは自分が生きていることを知った。

「まだ……、まだだったのか」

意識を取り戻して最初に放った言葉がこれであった。

退院する際、おじいちゃんは先生方に深々と礼をした。僕はおじいちゃんの顔を見た。その顔には涙が浮かんでいるように見えた。

僕のおばあちゃんはいない。僕が生まれたときにはすでにこの世にいなかった。僕が知っているのはそれだけ。

おじいちゃんは今日も竈に息を吹き込んでいる。おじいちゃんは今日も石を造り続けている。僕は今日もそんなおじいちゃんの姿を見守る。たまには僕と遊んでほしいと思うこともある。少しぐらい

僕と楽しくおしゃべりをして欲しいと思ったりもする。けれども、僕が何かお願いをするといつも決まっておじいちゃん言う。

「今は忙しいから、また今度ね」

どうやらおじいちゃんの意志は硬いようで、到底揺るぎそうにもない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5058v/>

---

石造りの街

2011年8月4日20時13分発行